



奈良県感染症情報

令和6年 第23週(6月3日～6月9日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

**手足口病
警報発令中!**

今週の概要

- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)について
- 5月報(月単位報告対象疾患(性感染症・薬剤耐性菌感染症)の状況)

❖ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ❖

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	手足口病	8.09	(6.68)	↑	↑	↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	5.74	(5.18)	↗	→	↗	→
3	A群溶連菌咽頭炎	4.12	(3.79)	→	→	→	↑↑
4	新型コロナウイルス感染症	3.51	(3.36)	→	→	↗	→
5	RSウイルス感染症	1.50	(1.53)	↘	↘	↘	↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

※新型コロナウイルス感染症等、基準値のない疾患については発生状況の評価を行っておりません。

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

❖ 県内概況 ❖

手足口病の定点当たり報告数は8.09で前週の6.68から増加しており、警報発令中です。奈良県内のすべての地域で警報基準値である「5」を越え、さらなる感染拡大が懸念されます。流水と石けんでしっかりと手を洗い、タオルの共用を避けるなど、引き続き感染予防対策をお願いします。

A群溶連菌咽頭炎の定点当たり報告数は4.12で前週の3.79から増加しています。地域別では中和保健所管内西部地域において10.83と特に高くなっており、また吉野保健所管内地域において、過去5週間平均数と比べて急増しています。手洗いやうがいをご心がけましょう。

❖ 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)について ❖

劇症型溶血性レンサ球菌感染症(STSS)は、急激かつ劇的な病状の進行を特徴とする致死率の高い感染症です。STSSは、1992年に日本における最初の症例が報告されて以降、年間100人から200人ほどの患者が確認されていましたが、近年、届出報告数に増加傾向がみられ、2023年の届出報告数は941人(速報値)となり、1999年に統計を取り始めて以降、最多であった2019年を上回りました。

2024年も引き続き届出報告数の増加は見られており、6月2日時点の全国の届出報告数は977人(速報値)と、昨年の届出報告数をすでに上回っています。

主な病原体はA群溶血性レンサ球菌です。A群溶血性レンサ球菌による一般的な疾患は咽頭炎で、主に小児が罹患します。一方で、STSSは子どもから大人まで広範囲の年齢層に発症し、特に30歳以上の大人に多いのが特徴のひとつで、免疫不全などの重篤な基礎疾患をほとんどもっていないにもかかわらず、突然発病する例があります。

初期症状としては四肢の疼痛、腫脹、発熱、血圧低下などで、発病から病状の進行が非常に急激かつ劇的で、発病後数十時間以内には軟部組織壊死、多臓器不全などを引き起こし、ショック状態から死にいたることもあります。患者のうち約30%が死亡しており、メディアなどで「人食いバクテリア」といった名称で取り上げられることがあります。

感染予防対策としては、手洗いやうがい等の基本的な対策に加え、擦り傷などの傷口を清潔に処置することも重要です。疑わしい症状が現れた場合には、速やかに医療機関を受診しましょう。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症(厚生労働省HP) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000137555_00003.html
国内における劇症型溶血性レンサ球菌感染症の増加について(国立感染症研究所HP)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/group-a-streptococcus-m/2656-cepr/12594-stss-2023-2024.html>

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 6 年 第 23 週 6 月 3 日 ~ 6 月 9 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ	3 (0.05)	2 (0.14)	1 (0.09)				
新型コロナウイルス感染症	193 (3.51)	36 (2.57)	43 (3.07)	25 (2.27)	61 (6.10)	28 (4.67)	
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	51 (1.50)	15 (1.67)	6 (0.67)	7 (1.00)	22 (3.67)	1 (0.33)	
咽頭結膜熱	24 (0.71)	2 (0.22)	9 (1.00)	4 (0.57)	9 (1.50)		
A群溶連菌咽頭炎	140 (4.12)	29 (3.22)	21 (2.33)	17 (2.43)	65 (10.83)	8 (2.67)	
感染性胃腸炎	195 (5.74)	42 (4.67)	54 (6.00)	34 (4.86)	58 (9.67)	7 (2.33)	
水痘							
手足口病	275 (8.09)	67 (7.44)	48 (5.33)	50 (7.14)	85 (14.17)	25 (8.33)	
伝染性紅斑	2 (0.06)		2 (0.22)				
突発性発しん	16 (0.47)	3 (0.33)	5 (0.56)	3 (0.43)	5 (0.83)		
ヘルパンギーナ	13 (0.38)	8 (0.89)		1 (0.14)	2 (0.33)	2 (0.67)	
流行性耳下腺炎	1 (0.03)					1 (0.33)	
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	5 (0.50)	2 (0.67)		3 (1.50)			
基幹定点数	6	7	2	7	7	7	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)		1 (0.50)				
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良市3、郡山1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(郡山1) 侵襲性インフルエンザ菌感染症2件(中和2) 侵襲性肺炎球菌感染症2件(郡山2) 梅毒2件(郡山1、中和1)

❖ 入院基幹定点報告状況 ❖

インフルエンザ	1	新型コロナウイルス感染症	20
---------	---	--------------	----

❖ 第23週のトピックス ❖

ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチンの接種を逃した方へ(キャッチアップ接種のご案内)
(厚生労働省HP)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/hpv_catch-up-vaccination.html

※データは報告数集計の速報値として公開するものであり、後日奈良県感染症情報(週報)、さらには確定データとしての年報において修正される場合があります。

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

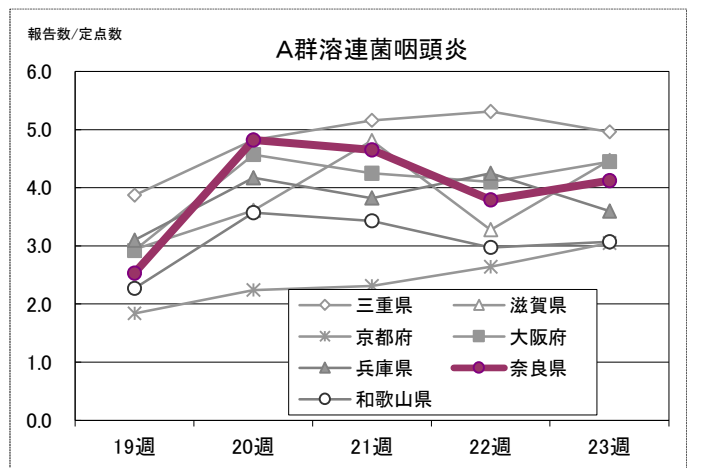
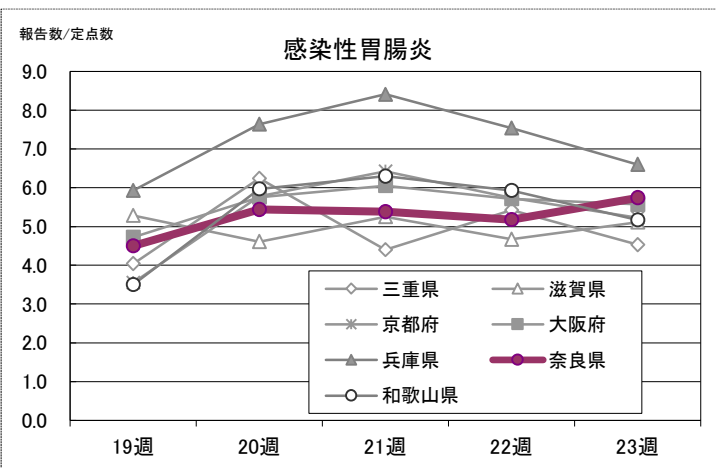
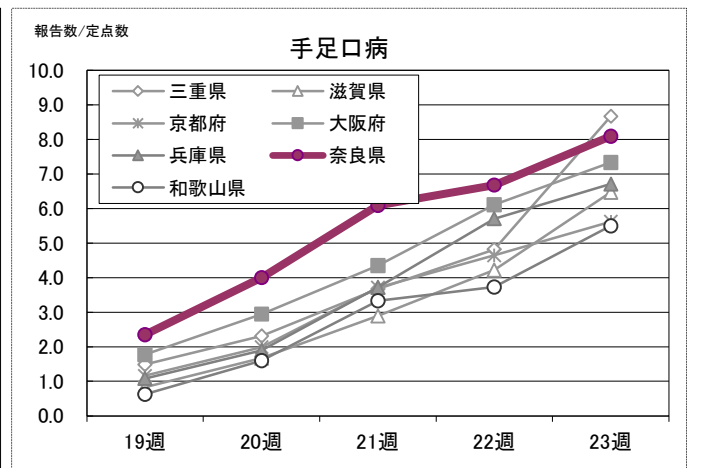
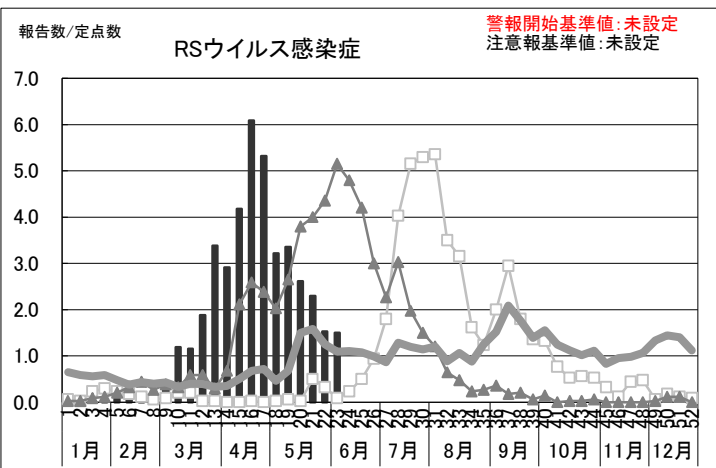
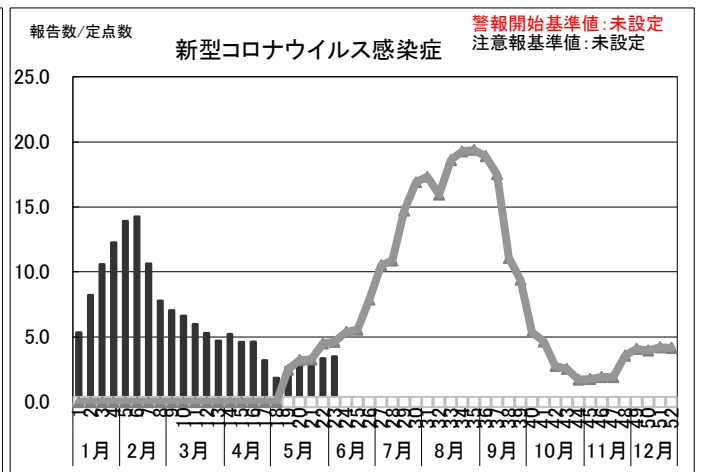
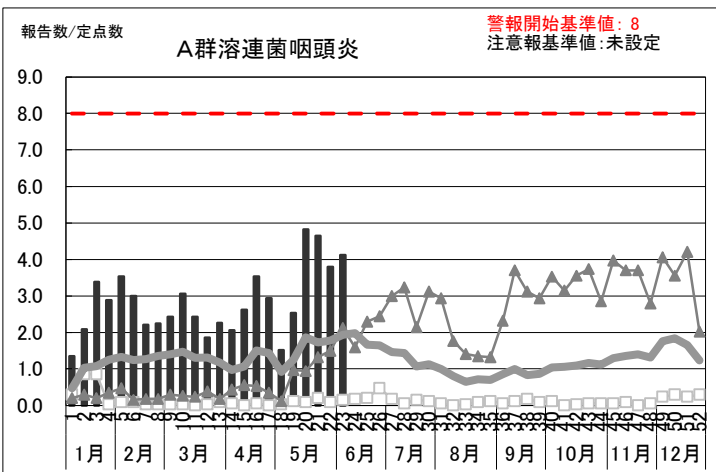
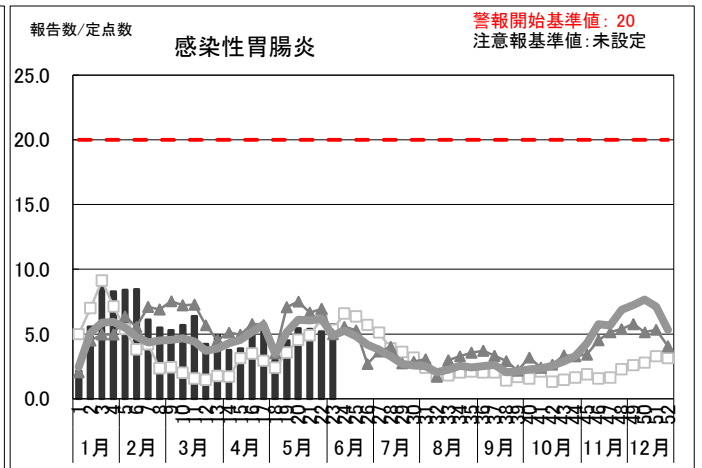
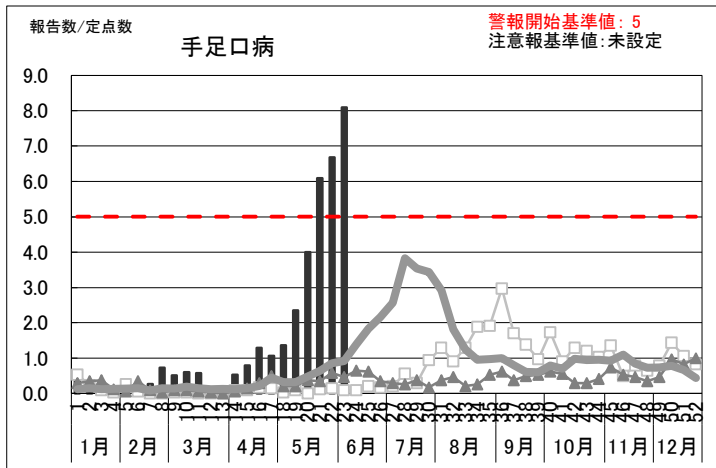
※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男															1				1		2	6296
	女																1					1	5444
新型コロナウイルス感染症	男	2	1	3		1				3	1		8	10	11	5	8	14	7	11	10	95	3774
	女			3		1			1				3	9	15	9	10	13	13	9	12	98	4359
RSウイルス感染症	男	2	11	5	4	2	1						1									28	709
	女	2	3	9	5	2	1	1														23	696
咽頭結膜熱	男		3	6	2	1	3	1					1									17	308
	女		1	2		2			1													7	273
A群溶連菌咽頭炎	男			3	5	10	7	6	12	10	11	5	11		2							82	1225
	女		1	1	5	9	6	9	6	4	8	3	6									58	981
感染性胃腸炎	男		2	11	8	14	13	11	7	8	6	11	9	1	2							103	2304
	女	1	2	10	13	8	14	3	12	6	4	4	6	1	8							92	1986
水痘	男																						35
	女																						27
手足口病	男	2	17	47	30	13	28	12	7	2	1	2	1		1							163	688
	女	2	9	37	23	14	13	8	2		1	1	1		1							112	566
伝染性紅斑	男			1																		1	1
	女																					1	1
突発性発しん	男		2	6	1	1																10	95
	女		2	2	2																	6	91
ヘルパンギーナ	男			2	1	1			1													5	28
	女			3	1	1	1		1	1												8	39
流行性耳下腺炎	男										1											1	10
	女																						7
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						1
流行性角結膜炎	男							1	1													2	72
	女												1									3	71
細菌性髄膜炎	男																					1	1
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						
	女																						
マイコプラズマ肺炎	男																						7
	女																						2
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						1
	女																						

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 6 年 5 月

性感染症定点数	北部		中部		南部	上段：報告数																合計	累計				
	奈良県	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野	(下段)：定点当たり報告数 報告数÷定点数																				
	11	3	3	2	3	0	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-				
性器クラミジア感染症	25 (2.27)	2 (0.67)	10 (3.33)	1 (0.50)	12 (4.00)	...	男							3	3				1	1					8	45	
						...	女					2	6	1	3	4	1									17	54
性器ヘルペス	8 (0.73)	4 (1.33)	2 (0.67)	1 (0.50)	1 (0.33)	...	男								1										2	5	
						...	女								1	2	1	2							6	21	
尖圭コンジローマ	3 (0.27)		2 (0.67)		1 (0.33)	...	男						1												1	7	
						...	女					1													2	11	
淋菌感染症	5 (0.45)		3 (1.00)		2 (0.67)	...	男							1					1	1					3	25	
						...	女					1			1										2	4	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	年齢	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-	合計	累計		
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	28 (4.67)	1 (1.00)	12 (6.00)	9 (9.00)	6 (6.00)		男	1							1					2	1	4	2	10	21	88	
							女										1							6	7	50	
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2 (0.33)		2 (1.00)				男																	2	2	11	
							女																			5	
薬剤耐性緑膿菌感染症							男																			2	
							女																				

❖ 対象疾患の動向 ❖ 全て報告数

■ R6 ▲ R5 □ R4

